

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	三田市			代表者名	田村 克也
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	地域福祉課	連絡先電話番号	079-559-5069
担当者役職	係長	担当者氏名	池田 宜功	連絡先E-mail	
住所	669-1595 兵庫県三田市三輪2丁目1番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	民生委員・児童委員担い手確保対策事業
概要	民生委員・児童委員の担い手確保を目的としたフォーラムの開催に係る企画・構成・運営への助言。 また、令和6年度に作成した民生委員・児童委員広報素材の効果的な活用に係る戦略的広報及びICTの活用に関する助言。		
支援を求める分野	ICT活用広報		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	516	令和7年7月30日	フォローアップ	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年7月14日	フォローアップ(実地)	13時00分	17時15分	10
				活動時間（分）	245
2-2. 派遣場所	会場名	三田市役所		最寄駅	JR三田駅
	所在地	兵庫県三田市三輪2丁目1番1号		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	井上 あい子
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	フォーラムのスピンオフ企画として、登壇者が地域活動の中で感じていることや今後より良い地域にするための取り組みについて自由に意見交換できる機会を設け、アドバイザーを中心に年齢や性別、所属の異なる各活動者の視点から地域課題を深掘りすることで、今後の取り組みについて新たな可能性を模索することができた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	9人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	2	0	5
				その他(学生など)
				2

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	■フォーラムの開催 ・これまで民生委員・児童委員と関わる機会がなかった人や、委員活動と自身の日常生活との結びつきを感じられなかった人が参加したいと思える企画・構成となっているか。 ・参加者が地域における民生委員・児童委員の必要性や存在意義を理解し、民生委員・児童委員の担い手不足から見えてくる地域課題を自分事として捉えられる内容であるか。 ■ICT活用広報 ・令和6年度に作成した民生委員・児童委員広報素材をもとに、ICTを活用した幅広い年齢層の目に留まり記憶に残る仕掛けづくりを行えるか。 ・市内に留まらず広域での利活用を目的として作成した横展開用広報素材を効果的に展開することができるか。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	・参加者が地域における民生委員・児童委員の役割や必要性を理解し、民生委員・児童委員の担い手不足に係る課題を一部の活動者だけではなく、自身の日常生活に関わる地域全体の共通課題であると認識できるような企画・構成によるフォーラムの開催。 ・令和6年度において作成した民生委員・児童委員PR動画及び啓発チラシ等の広報素材を効果的に活用するため、既存の広報媒体にとらわれずICTを活用しながら、幅広く印象に残る情報発信を行う戦略的広報の展開。 ・担当職員のファシリテーションや交渉能力の向上。

アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	・スピンオフ企画において参加者より意見のあった地域活動の現状や課題をもとに、行政や関係機関、地域活動団体などそれぞれの立場から課題解決に向けて取り組めるアプローチに関する助言。 ・今後、地域課題の解決に向けて取り組むうえで、地域と行政が地域における現状や課題を共有し認識をすり合わせながら、新たな取り組み可能性を共に考える機会を設けることが必要であるとの助言。 ・地域コミュニティが希薄化し地縁力が弱まりつつある中で、これまでの枠組みにとらわれず、参加者同士が負担なく気軽に集える緩やかなつながりが必要であるとの助言。	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	・アドバイザーの助言により、フォーラムの開催だけではなく、スピンオフ企画として登壇者同士でフォーラムの振り返りや地域活動に関する意見交換の場を設けたことで、それぞれの立場から地域活動の現状や課題を深掘りし、課題感を共有しながら持続可能な地域づくりに向けた新たな取り組みの可能性を共に検討することができた。 ・民生委員・児童委員の負担軽減を図るうえで必要となる地域活動の担い手育成に向けて、地域住民の興味・関心を軸としてICTを活用した住民同士のマッチングを行い、多種多様な人がこれまでの枠組みを超えた新たなつながりを持ちながら主体的に地域活動に関われる環境づくりを行う必要があるとの認識を得た。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
	特になし	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 （具体的にご記入ください）	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	特になし	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
	地域共生フォーラムやその後のスピンオフ企画を通して、地域活動との関わりを持つ多様な立場の人から、地域活動の現状や課題、課題解決に向けて必要な取り組み等について意見を得ることができたため、今後は地域との連携を強化し、住民主体で取り組む持続可能な地域活動に向けた更なる機運の醸成を図る。 また、民生委員・児童委員の担い手確保に向けて、令和6年度において作成した広報素材を用いたICT活用広報や戦略的広報を展開することで、幅広く印象に残る情報発信を行うとともに、今後の事業展開に地域活動者の視点を取り入れることで、地域全体で民生委員・児童委員制度を支える新たな取り組みの可能性を模索する。	
4－4. 事業の最終的な目指す姿	ICTを活用した幅広い世代への情報発信や、民生委員・児童委員が自身の言葉で地域住民へ思いを伝える機会の創出により、これまで委員活動により支えられていた地域福祉の側面を地域住民が再認識しその必要性を理解するとともに、民生委員・児童委員の担い手不足の背景にある課題を通して地域における福祉課題を住民と共有することで、一部の活動者だけではなく地域全体で「人とのつながりを感じられる温かいまちづくり」に取り組む機運を醸成する。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/
掲載許可	☐ 掲載可	
なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。		

